

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

御幣島小	学校
------	----

児童数	87
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.06	19.00	33.15	39.06	43.67	9.33	149.25	24.97	52.86
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.86	19.24	37.59	36.98	32.60	10.08	133.02	13.50	51.30
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

本校の体力合計点は、男子が52.86点、女子が51.30点だった。男子は大阪市平均（51.54点）を上回り、全国平均（53.02点）と同程度であったが、女子は大阪市平均（52.58点）、全国平均（53.97点）を下回る結果となった。

種目別に見ると、男子では握力やソフトボール投げなどの筋力や投力において全国平均を上回った。一方で、20mシャトルランや反復横とびにおいては全国平均を下回っており、持久力や敏捷性に課題が見られる。女子においては、全体的に全国平均を下回る傾向が見られ、特に、投力や跳躍力に課題が見られる。また、「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童（「好き」「やや好き」の合計）の割合は、男子が約97.2%、女子が約88.5%であり、男子は全国平均と同程度である一方、女子はやや下回る傾向が見られる。さらに、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が2.9%、女子が16.7%であり、男子は全国平均（9.8%）を下回っているが、女子は全国平均（17.3%）と同程度であり、特に、女子において運動習慣の定着に課題が見られる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

これまで本校では、体育授業における運動量の確保や業間運動や外遊びの推奨などを通して、児童が日常的に体を動かす機会の充実に努めてきた。その結果、男子においては筋力や投力の向上が見られ、体力面で一定の成果が表れている。また、運動に対して前向きに取り組む児童の姿も多く見られるようになってきた。今後は、持久力や敏捷性の向上を図るため、継続的に体を動かす活動の充実が必要である。体育授業においては、運動量を確保するとともに、系統性を意識した指導の充実を図る。また、運動習慣の定着に向けて、業間運動や外遊びのさらなる活性化を図り、児童が楽しみながら体を動かすことができる環境づくりを進めていく。さらに、女子児童の体力向上に向けては、成功体験を積み重ねることができる授業づくりや個に応じた支援の充実を図り、運動への意欲を高めていく。家庭とも連携しながら、日常的に体を動かす習慣の定着をめざしていく。